

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立四條畷高等学校
校長名	稲葉 剛

開催日時	令和3年2月
開催場所	書面開催
回答者(委員)	田中保和会長 梅田和子副会長 阪口葉子委員、串田ゆか委員、乾昭彦委員、松浦慎吾委員
出席者(学校)	
傍聴者	
協議資料	令和2年度学校経営計画(評価) 令和3年度学校経営計画(案) SSH取組み
備考	

議題等(次第順)	
1 学校経営計画(評価) 2 令和3年度学校経営計画(案) 3 SSH取組み	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>・コロナ禍での主な教育活動について →オンライン授業や各種行事(畷高祭や修学旅行、音楽芸術祭等)の実施等、最大限の対応をした。生徒の自主性が発揮されてよかった。 →学力保障がどれだけできたかが少し心配である。リアルタイム双方向による遠隔授業が今後の課題である。 →「日本一の教育を受けられる学校」を掲げるなど、進化を求める姿勢は重要である。</p> <p>・令和2年度学校経営計画及び評価(案)について →計画や評価指標は概ね達成されており、教職員の努力が表れている。 →国公立大学合格者等の進路実現、ICT機器を活用した授業実施率、部活動加入率の上昇など、「守る伝統から創る伝統へ」が発揮されている。 →CEFRのB1、B2レベル、支援や配慮、人権意識向上の目標未達成は残念だが、コロナ禍の影響もあると思うので、頑張っ て取組を継続してほしい。英語の4技能習得の向上を期待する。 →「働き方改革」に向け、オーバーワークにならないように頑張してほしい。</p> <p>・令和3年度学校経営計画及び評価(案)について →具体的な数値目標も含めた評価指標の提示、学習指導要領改訂に向けた内容など、適切な計画である。 →令和2年度との違いが強調されていて、わかりやすい。 →「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進はとても良い。 →「GL部を中心とした全校体制」など、将来構想に向け、さらなる飛躍を期待する。</p> <p>・GL部及びSSHの活動状況について →コロナ禍で、様々な工夫をして活動されているのはGL部がしっかりしていることの証である。 →探究活動はSSH以外の他校の新教育課程の先駆的役割を果たしており、情報発信に努めてほしい。 →学校として、非常に組織的に教育活動が展開されている。次々と人材が育ってきて、より良いものへと活動を充実させている。 →「学びの航海図」作成は良い取り組みである。 →課題研究などは素晴らしい活動であり、同窓会などでも発表してほしい。 →コロナ禍で留学や現地での国際交流はできなかったが、オンライン交流や森林火災への募金など、目標をよく達成した。</p> <p>・学校運営協議会より、令和2年度学校経営計画及び学校評価(案)、令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)の承認を得た。</p>	
次回の会議日程	
日時	令和 月 日 ()00:00～
会場	